

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	産科肛門括約筋損傷トレーニングプログラムの教育効果の評価：後ろ向き観察研究	
1. 研究の目的と方法	OASIS（産科肛門括約筋損傷）は、分娩時の会陰裂傷が肛門括約筋に及ぶ第3度・第4度会陰裂傷です。本研究は、講義と豚ウェットモデルを用いた縫合実習を組み合わせたOASISトレーニングプログラムについて、参加者による受容性と受講直後の知識変化を評価することを目的とします。 既に教育目的で実施された事前事後クイズおよびポストアンケートの回答を後ろ向きに解析し、知識クイズ得点の変化、満足度、時間・難易度の適切性、推奨意向、過去のOASIS研修受講歴、診断・修復経験等を評価します。新たな質問、検査、診療行為は行いません。クイズ・アンケートの自由記載欄に記載された情報は解析しません。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年12月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	2024年8月4日から2026年7月25日までに、本研究の対象となるOASISトレーニングプログラム6開催のいずれかに参加し、事前クイズ、事後クイズまたはポストアンケートのいずれかに回答された方。対象となる受講記録は延べ138件ですが、同じ方が複数回参加している可能性があるため、研究対象となる方の実人数は確定できません。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	開催回、事前事後クイズの回答および得点、企画全体・講義・ハンズオンの満足度、時間の長さ、講義・ハンズオンの難易度、他者への推奨意向、過去のOASIS研修受講歴、受講後の診断・修復経験に関する回答を利用します。 回答日時、氏名またはニックネーム等は、回答の突合、重複確認、入力時期の確認等のデータ整理にのみ使用し、解析用データから削除します。クイズ・アンケートの自由記載欄に記載された情報は利用しません。
	(4) 情報の取得の方法	教育プログラムの理解度確認および企画改善を目的として、各開催時にGoogle Formsで取得された既存の回答です。回答時のフォームには、クイズの結果を今後の学術活動に使用すること、匿名化して解析すること、回答・返送をもって協力への同意とすることが記載されていました。一方、今回の具体的な研究計画、研究目的および利用方法は、対象となる開催が終了した後に策定しました。
5. 研究の実施体制	あなたの情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	

	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	教授 佐村 修 (サムラ オサム)
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤 千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 助教 末光 徳匡 (スエミツ トクマサ)	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。セミナーは複数の学会・施設で開催されましたが、研究計画、既存データ管理、クリーニング、解析および論文作成は東京慈恵会医科大学で行います。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	情報の利用開始予定日：2026 年 9 月末日以降		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者：教授 佐村 修 (サムラ オサム) 窓口担当者：助教 末光 徳匡 (スエミツ トクマサ) 電話番号：03-3433-1111 (内線 3069) 対応時間：平日 9:00～17:00		

※利用する情報からは、氏名、ニックネーム、メールアドレス等の個人を直接識別できる情報を削除し、研究用 ID に置き換えます。研究対象者と研究用 ID を対応させる表は、東京慈恵会医科大学産婦人科学講座医局内に設置されたパスワード管理 PC 内で厳重に管理します。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。本研究への情報利用を希望されない場合は、上記【問い合わせ先】までお申し出ください。お申し出いただいても、勤務、教育、所属施設での評価、今後のセミナー参加等で不利益を受けることはありません。ただし、既に個人を識別できない形で集計・公表された後は、個別データを除外できない場合があります。